

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成31年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【子ども未来部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 4</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定不妊治療に対する助成内容の充実をされたい。また市単独での助成上乗せを実施されたい。 <p style="text-align: right;">P 4</p> <ul style="list-style-type: none"> 高校卒業認定資格合格者支援事業を実施されたい。 <p style="text-align: right;">P 4</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童クラブ未設置地区への早期の対応をされたい。飯岡小学校学区の児童館について複合施設の計画がありその建設は平成31年度となっているが盛南地区の児童増加が見込まれていることから、建設年度までの児童を預け入れる環境整備を図られたい。 <p style="text-align: right;">P 4</p> <ul style="list-style-type: none"> 通年を通じ待機児童の解消を図られたい。 	<p>特定不妊治療につきましては、国の制度に基づいて、市の窓口や医療機関などを通じて制度の周知を図りながら、治療費の助成を行っているところであります。市単独の補助金上乗せにつきましては、特定不妊治療支援事業利用者に対して行ったアンケート調査の結果と他自治体の上乗せ状況を踏まえ、本市の状況に合わせた実施方法について検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(子ども未来部母子健康課)</p> <p>児童扶養手当現況届受付会場での相談事業において、親の資格取得などの相談に応じており、高校卒業程度の認定資格を取るための制度についても、情報提供を行っております。今まで、この制度の相談はありませんでしたが、今後も、ニーズを把握するとともに、他の自治体の取組などから、事業の効果等を研究してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(子ども未来部子ども青少年課)</p> <p>児童センターの未設置学区につきましては、今後の就学児童数の推移や地域における必要性等を踏まえ、用地の確保や建設費等の財源的な課題、市全体としての公共施設の配置のあり方等を考慮しながら、優先度を検討し、計画的に整備してまいりたいと存じます。</p> <p>飯岡小学校学区の児童センターについては、利用児童が多い他の児童センターの利用や活動方法などを参考にしながら、児童を受け入れる環境整備に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">(子ども未来部子育てあんしん課)</p> <p>待機児童の解消については、平成30年4月1日時点の待機児童数は「ゼロ」となりましたが、産休や育休明けなどに伴い、年度途中からの保育所の利用希望が増え、保育所に入ることができない人もおりますので、民間の遊休物件を活用した小規模保育所の新設などにより、0～2歳児の入所定員を拡充する「待機児童対策緊急プロジェクト」に新たに取り組んでいるところであり、年間を通じた待機児童の解消を図ってまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(子ども未来部子育てあんしん課)</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成31年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ひとり親へのワンストップ支援として児童扶養手当現況届会場での相談事業を実施していることを高く評価している。今後とも情報提供の充実を図ると共に、ひとり親の要望等を調査する場として、意識的に活用していただきたい。 	<p>平成30年度の児童扶養手当現況届受付会場での相談事業においては、132件の相談に対応したほか、会場に44種類のチラシや資料を配架し、情報提供に努めたところであり、今後、相談事業を継続し、ひとり親のニーズを把握しながら、ワンストップで出来る体制の充実を図ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">(子ども未来部子ども青少年課)</p>
<p style="text-align: right;">P 4</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も児童虐待相談件数の増加が予測されることから、子ども未来ステーションの人員に不足がないようにされたい。また、虐待対応は時間が不規則なりやすいため、非常勤職員ではなく正規職員の配置を要望する。 	<p>増加している児童虐待相談につきましては、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援センターを中心に、子ども未来部全体で対応しているところであり、職員の配置につきましては、今後の相談件数の推移等を見極めながら、最適な体制を検討してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(子ども未来部子ども青少年課)</p>
<p style="text-align: right;">P 4</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども食堂など子どもの居場所づくりが広がっているが、実施団体のネットワーク化を図ると共に、様々な地域や年代の方が交流できるように市民への情報提供や啓発をされたい。 	<p>平成30年5月に、県内で子ども食堂をはじめとした子どもの居場所づくりを実施している団体のネットワーク組織である「子どもの居場所ネットワークいわて」が立ち上げられ、団体間の情報共有、研修、広報啓発などの活動が行われており、市においてもこれらの活動に積極的に参加し、県と協力しながら、「子どもの居場所ネットワークいわて」の活動を支援しているところです。</p> <p>今後におきましても、様々な地域や年代の方が交流できるように、子ども食堂など子どもの居場所づくりを行っている団体の活動の情報提供を図ってまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(子ども未来部子ども青少年課)</p>
<p style="text-align: right;">P 4</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども未来基金の周知を積極的に行って頂きたい。 	<p>子ども未来基金を活用した「子ども・子育て支援事業補助金」につきましては、平成29年度は12件、30年度には22件の事業に対し補助を行い、11月には、補助金交付を受けた団体の活動報告会を実施し、市民、関係団体等に情報提供を行ったところです。</p> <p>また、企業等を訪問し、補助事業の説明や寄付を呼びかけたところであり、今後も、より多くの市民、団体に関心を持っていただくため、積極的な周知に努めてまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(子ども未来部子ども青少年課)</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成31年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 4</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童虐待に対する市民への啓発を強化して頂きたい。また、受胎時からの切れ目ない支援を実施する体制を強化して頂きたい。 	<p>児童虐待に対する市民への周知につきましては、11月の児童虐待防止推進月間を広報「もりおか」に掲載するとともに、保育園や幼稚園、小中学校、各関係施設にポスターやチラシを配布し、周知に努めているところであり、さらに、教育・保育関係者や民生・児童委員の研修会においても啓発活動を行っております。</p> <p>また、平成30年4月に開設した子ども未来ステーションにおいて、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援センターを同じ場所に設置し、一体的に運営することで、妊娠・出産期から就学期までの、継続的、包括的支援体制を強化したところあります。</p> <p>今後も一層、関係機関と連携を図りながら、切れ目のない支援を実施してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(子ども未来部子ども青少年課・母子健康課)</p>
<p style="text-align: right;">P 4</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの居場所づくりや健全育成に関わる高大学生に対し単位認定や内申書記載などを行うよう、岩手県教育委員会や各大学に働きかけて頂きたい。 	<p>文部科学省は、学校以外の場における活動の成果を幅広く評価できるようにするため、高等学校や大学等において、ボランティア活動等に係る単位認定を認めているところであり、多くの学校が単位認定に取り組んでおります。</p> <p>単位認定の制度の活用については、学校の判断によるところではありますが、子どもの居場所づくりや健全育成事業に関わることは、高校生や大学生にとって成長する機会となりますことから、大変意義があるものと存じますので、機会を捉え学校関係者と意見交換をしてまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(子ども未来部子ども青少年課)</p>
<p style="text-align: right;">P 4</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭総合支援センターの運営に対する職員配置への増員を図られたい。 	<p>子ども家庭総合支援センターの運営につきましては、子ども青少年課が応援体制をとりながら、業務を進めているところではありますが、職員配置につきましては、今後の相談件数の推移等を見極めながら、最適な体制を検討してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(子ども未来部子ども青少年課)</p>